

# 新年あけましておめでとうございます



平成29年の新年を迎え、はやくも10日が過ぎようとしています。学生諸君にとって新年というのは、後期試験の直前で、卒論も追い込みの真ただ中、のんびりかた遊びをしたり、旅行をしたりする時間はなかなか取れないときに当たります。私の学生時代は、年初めの授業は1月10日過ぎからおもむろに始まりました。年末も、12月20日頃から冬休みでしたから、のんびりしたものでした。

一方で、ヨーロッパなどのキリスト教の国々では、クリスマス休暇は長い代わりに、1月は2日から社会は通常期に戻ります。そもそも、4月と3月という年度の切れ目や、複雑怪奇な入試制度を許したまま、祝日の多い日本で、半期15日の

第41号  
2017年  
1月10日発行

2017年1月10日号  
甲南大学知能情報学部田中研究室 毎月発行  
http://carnation.is.konan-u.ac.jp  
編集長・岡田 航大 (M1)  
編集委員・橋本 渉 (B4)

めには、何かしたいという気持ちになります。私が若いころからあこがれていたのは、英語以外の外国語でペラペラしゃべれるようになりたいということでした。残念ながら、フランス語、ドイツ語、中国語、いずれも中途半端で、少し

かわかりませんが、年齢を考えるとあまり魅力的なテーマでもなくなっています。訳あって、気象予報士になりたいと思っています。これは、2〜3年後までの私のもっとも具体的な目標というところですか。もう一段先の夢は、自分の発明・開

## SI2016札幌にて開催

### 当研究室からは田中教授と院生二人が参加

計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会というのが正式名称のSI2016が今年は札幌で開催された。直前に降った雪は札幌でも歴史的な積雪ということで、まるでスキー場のような光景だった。マイナス5度以下の寒さの世界というのはあまり経験しない温度だったが、一番困ったのは、歩くのに、道路が滑って困ったことだった。どんなにゆっくり慎重に歩いても、滑るときは滑る。5回ほど滑り、そのうち2回は手をついた。荷物もリュックサック1つにしていたのは正解だった。写真は会場付近の雪景色である。

授業を行うことは、どうしても困難を極めるのですけどね。盆前まで授業をしていたら、例えば、6月後半から8月くらいまでの間にある欧米でのサマースクールなどに行けるはずもありません。一度いろいろなことを白紙に戻して、日本社会をリセットするわけにいかないのでしょうか。

まあ、そういう根本原理的な話はさておき、その中にある学生諸君は、自分を見失うことなく、目標をもつて1年をスタートしてほしいと思います。一番大切なことは、地力をつけることです。自分が身に付けた地力とは何か？プログラミング能力でしょうか。それとも、英語その他の外国語でしょうか。選層を既に過ぎた私でも、一年のはじめ

かかわりませんが、年齢を考えるとあまり魅力的なテーマでもなくなっています。訳あって、気象予報士になりたいと思っています。これは、2〜3年後までの私のもっとも具体的な目標というところですか。もう一段先の夢は、自分の発明・開



発したものでベンチャーをしたいということですか。昨年と同じことを思っています。ですが、少しだけ近づいたような気がします。今年ももっと頑張りたいと思います。若い皆さんも、目標を設定して、頑張ってください。(田中雅博)

## 岡田航大

12月15日から17日にかけて、北海道の札幌コンベンションセンターにて行われた、SI2016に参加させて頂いた。出発の日にはTAMもあつたので、まず登校し、TAMが終わった後に神戸空港に移動して、神戸を出発した。

乗った回数は結構多いのだが、飛行機に一人で乗るのは初めてで、手順が合っていないのは最後まで不安であったが、幸い手続きなどで間違えることはなかった。飛行機は隣一列に人がおらず、かなり空席が目立っており、ゆったりと過ごすことができた。飛行機のサービスドリンクで飲んだじやがバッテリーがかなり美味かった。しかし、飛行機が降下体制に入ったあたりで急に身体に異変があり、これまでの経験したことがないくらい頭の痛みが襲われ、着陸してからもしばらく頭痛が痛かった。原因はわからないが、なかなか経験したくないものである。

到着の日には19時30分過ぎあたりにホテルにチェックインした。そのあとせっかくなので北海道なのでラーメンを食べに行った。ホテルのレストランで食べることも検討したが、最低予算が3000円ほどと記載されていたので、諦めてJRタワーの地下へとラーメンを求めて、足を運んだ。

12月15日から17日にかけて、北海道の札幌コンベンションセンターにて行われた、SI2016に参加させて頂いた。出発の日にはTAMもあつたので、まず登校し、TAMが終わった後に神戸空港に移動して、神戸を出発した。

乗った回数は結構多いのだが、飛行機に一人で乗るのは初めてで、手順が合っていないのは最後まで不安であったが、幸い手続きなどで間違えることはなかった。飛行機は隣一列に人がおらず、かなり空席が目立っており、ゆったりと過ごすことができた。飛行機のサービスドリンクで飲んだじやがバッテリーがかなり美味かった。しかし、飛行機が降下体制に入ったあたりで急に身体に異変があり、これまでの経験したことがないくらい頭の痛みが襲われ、着陸してからもしばらく頭痛が痛かった。原因はわからないが、なかなか経験したくないものである。



今回の学会を終えて、また一つ自分自身が成長できると感じました。この今の高いモチベーションを保つため、次の対外予定に決まってきた鹿児島大学との共同研究会に向けて、頑張りたいと思います。(岡田航大)

# 研究室で忘年会開催

12月22日に田中研究室の忘年会を開催しました。場所は阪急岡本駅から歩いてすぐのところにある「とつあん」という居酒屋で行いました。このお店は岡本以外にも多くの店舗があるチェーン店なのですが、とにかく海鮮料理が楽しめる居酒屋です。夏に一度、田中研究室の歓迎会でこのお店を利用したことがあったのですが、その時は天ぷらが食べ放題のコースだったので、ほとんど天ぷらしか食べませんでした。今回は他の海鮮料理も食べたいと思ったので、またこのお店にすることに決めました。参加人数は13名で、3回生



は全員参加してくれました。さすがに3回生全員と話をすることはできませんでしたが、3回生の新たな一面を知ることができました。初めて話す人が多かったのも、いろいろな面白い話を聞くことができた。3回生だけではなく、田中先生や院生の方とも普段ではあまり聞くことができない話をたくさん聞かせていただきました。それぞれの学生に対する印象や、過去の研究室に関する話など、印象深い話題ばかりでした。やはりお酒が入ると、様々な話題について本音で話をされるので、とても楽しかったです。お酒に関しては、自分自身なるべく控えるようにしていました。というのも、前回の歓迎会では幹事であるにもかかわらず、少し飲みすぎて酔いが回ってしまい、今回はそういってこないように意識しました。自分だけでなく、他の人もそれぞれ楽しんでいってほしいので、とても有意義な忘年会だったと思います。(金澤陽介)

## 2016年のKOROを振り返り

2016年は世間一般では様々な出来事があり、目立つところではアメリカの大統領選に共和党のトランプ氏が当選したり、パナマ文書たるものが公開されたり、国際的に大きい事件から、国内に目を向ければ、東京都知事選があったり、熊本自身があたり、国民的アイドルであるSMAPが解散したりとジャンルを問わず書けばキリがないほど様々なことが起きた。一方で当研究室で研究・開発を続けているコミュニケーション

ロボットKOROにも様々なことが起きていた。今回は2016年のKOROについて、記事にしようと思う。

まず、KOROを甲南大学の図書館に常駐し始めたのは2015年の暮れの出発だが、その開発メンバーが卒業を終え、院進学をした私とM2に継ぎした。谷さん以外のメンバーは一新され、引継ぎは行ったものの、実際にプログラムを組んだわけではないので、屋外のシステムはノウハウ



新システム(下)と旧システム(上)

の部分をやっていった身としては、実験のたびに何かしらケープルの指し忘れが起きていたり、設定が変わっていたりと、正直同じパソコンで開発するのは得策ではないというのを感じてきた。プログラム自体はというと、上手くいったかどうかは人それぞれ評価が分かれると思うが、利用してくれた人からの評価は高かったのではないだろうか。

新年度が始まり、本格的に現在の4回生が研究内容を固め、各々どういうことをするかを決める時期には、RTShellを用いた自動起動に成功していたので、そのころには朝動いていないということがむしろイレギュラーで、そういうことは滅多になかった。そもそも自動起動が失敗する原因は外した配線をつけ忘れたりだとか、ネットワークを切ったままだったとかそれくらいだった。

現在の4回生が開発を始めたころは、M2の須谷さんがプロジェクトリーダーをしており、2015年と同様にオープンキャンパスに向けた準備が進められ、図書館内はKinectでの制御からLeapmotionでの制御に、屋外はキャンパスツアーを行うことを目標にしていた。結果から言えば、夏のオープンキャンパスは両者共に惨敗で、旧システムを動かすことになった。当時は30点と言った気もするが、結果だけ見れば0点であることは4回生が一番痛感したこと



だと思ふ。その悔しさもあつてか、秋のオープンキャンパスまでは、屋外から実験をしたときは、屋内組は一応は見せられる状態になっていた。屋外はというと、前日にパンクが判明し、見せられる状態ではなかった。仕方がないことだが気の毒だとは思ふ。

このころ、プロジェクトリーダーが須谷さんから4回生の島津くんになり、開発をしながらまとめをやらなくてはいけなくなると、夏時期だったかと思ふ。夏のオープンキャンパスの悔しさもあつてか、秋のオープンキャンパスまで頑張っていたとは思ふ。しかし、いざ秋のオープンキャンパスが始まってみると、何やら1時間ほど何も動かない

い。その日は何が起きても見守ることを決めていたが、流石に2時間たつたあたりで、痺れを切らせてKOROの様子を見た。原因はTOPURGのケーブルのつなぎ忘れで、研究室の出来事に限って言えばこの1年間で一番落胆した出来事かもしれない。日頃の実際の際に気付いてほしいところではあった。昼頃からはお客さんに実際に体験してもらい、ある一定の評価を得ることもできたので、見た目はまだよい結果に終わったのではないだろうか。

## 私のアルバイト史

### 第2回

前回、ショップでの1回生2回生の前期までのことを記事にしたが、今回は同時期のサポートのことを記事にする。

サポートでは1回生のはじめから働いていたわけではなく、知能情報学部というところがサポートのパートナーにも知られ、その時に人材不足だったので、途中から参加することになった。主な仕事は「製品調査」で、先生から送られてくるメールの製品が「どういうものか」「値段がいくらか」などを調査する。今でこそメールだけで受注表を起

とは到底思っていなかったもので、このダメージは大きいものであった。結局パワーポイントの表示がおかしいという問題に関しては、これといった解決策が見当たらず、色々と頭を悩ませながら試行錯誤したものの成功せず、パソコンの2台化というところで決着しようとしている。

さて、2017年KOROは一体どういう進化をするのかについてだが、今決まっていることは、KOROに人工知能を載せようというところ、この部分は院生の私が担当している。他にも現在の3回生の何名かはKOROに配属されることになると思う。その中で新システムも開発されるはずであり、思いもよらない機能が追加されるかもしれない。不安と期待がこれほどまでに混じるか、と開発メンバーで一人残る私なんかは思っている。2017年もKOROをどんどん進化させていこうと思う。(岡田航大)

回生も上がり、信頼度が少しずつ上がっていった時期には、ついに「先生の研究室の環境整備」という仕事を任せられた。どういうことをやるのかというと、例えば無線ルータの設置であったり、プリンターの設定である。一言でいえば簡単な作業だが、学内のネットワークは多少複雑なので、無線ルータを刺しただけでは使えない(もちろん家庭でもいろいろ設定は必要ない場合が多い)まずWANとLANのことを覚えてたり、設定画面について覚えたりする作業が必要だ。プリンターはディスクもしく

はインターネットからドライブをインストールする必要がある。もし先生のパソコンがネットに繋がっていない、ディスクを読み取れないなどの場合に備えて、研究室に向かう直前にUSBにドライブを落としてきている。慣れてきたあたりには、無線のマウスや無線製品を使っている先生には一度、無線でのプリンター接続を提案することにした。これがどうやら良い着眼点だったようで、何人かの先生からぜひ次もお願いしたいと指名を受けることになった。実はこの頃は甲南に在籍していて、定年で退官された先生には今でもお世話になることもあり、自宅が近いのもあり、ご自宅まで行ってのサポートを行ったりすることもあった。

他にも新入生パソコン選定のため某PC会社の工場を見に島根に行ったり、サポートでは非常に多種多様な仕事を受けさせていた。感謝してもしきれないほどの経験である。しかし、ショップも同様でサポートも3回生になったあたりにもほとんどないほど忙しい時期があったが、それはまた次回以降に述べようかと思う。今回はファミリーマートが入ったからのショップのことを述べていこうと思う。個人的には思い出すだけで辛い期間である。(岡田航大)

### 研究室対外予定

1月16日 田中教授、NHK放送技術研究所を訪問、カメラの姿勢推定手法についてディスカッション  
▼1月22日〜2月20日 グランフロントで、田中教授の来場者カウンタを設置、実使用▼2月23日〜24日 ゼミ旅行(金沢)▼2月28日〜3月4日 田中教授、NCS(グアム)で体操評

価支援基盤システムの論文発表▼3月8日 女子栄養大学金子教授が、田中教授の体操支援システムの見学にご来校▼3月17日〜18日 鹿児島大学で開催の、甲南・鹿児島コンピュータビジョン研究会に田中教授と岡田君が参加、発表

### 編集後記

皆さま、明けましておめでとございます。2017年も田中研新聞をよろしくお祈り致します。

年明け早々頭痛に襲われ、冬休み後半をほぼ寝て過ごす羽目になり、これが本当の寝正月か、と頭の中で思っていたら正月が終わっていました。

ただ年末は非常に充実しており、Pythonの勉強から論文に目を通すことまで、日頃なかなか手がつけられないことができました。お前は遊ばなかったのかい、と言われるかもしれませんが、年末年始は初詣と祖父母の家に行った以外はほとんど家を出ていません。

今年の目標は、就職活動も始まり、研究も佳境の時期に入る事になります。ですので、今年は「折れない」ことを目標にしようかと思っています。何事にも折れない気持ちで頑張って成し遂げようと思います。言うのは簡単ですが。

対外予定にも書いてありますが、3月に鹿児島大学で研究会を行うことになり、それに参加させていただくことになりました。3月と言えど活動が始まっているなど少しよぎりましたが、鹿児島に行ったことがないので、もちろん遊びというわけではないのです。が、それでも鹿児島へ行けることが、本当に楽しみです。鹿児島島の魅力に負けたいという気持ちで頑張ります。(岡田航大)